

令和6年度事業計画

1 基本方針

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってから2年が過ぎても、先行きが見えず、昨年10月にはイスラエルとハマスの紛争が勃発しています。このため、原油価格が高騰し、それに伴い諸物価が上昇し、市民生活に大きな影響を及ぼしています。

昨年5月、国は新型コロナの感染者数が減少したことから、感染症の扱いを2類から5類に改め、3年振りに経済活動を再開・活性化させる方向に転換しました。また、国は働き方改革を進めるとともに、景気を回復させるべく、経済界に賃金のベースアップを求めていますので、その経済効果がシルバーにも及ぼしてくることが期待されます。

当センターの運営状況は、契約金額が令和元年度から令和3年度まで下がり続けましたが、令和4年度から前年度の実績を上回るようになりました。公共業務の一部が指定管理者制度導入により契約切れになったこと、新型コロナの影響で受注が減少したことにより、契約金額が下がりましたが、新型コロナ問題が収束したこと、草取り・植木の剪定等の業務について、お得意様向けに年間受注を始めたこともあり、契約金額が持ち直してきています。

昨年度は創立40周年を迎える記念すべき年でしたので、12月にはシルバーフェスタに併せ、記念事業を開催しましたところ、多くの市民の方の来場があり、シルバーの普及啓発に繋がりました。これからも地域社会の臨時的・短期的・軽易な需要に応えることによりシルバーの有用性を訴え、就業拡大に努めていくことが必要です。農業支援を始め、広域的に展開できる事業については近隣センターと協力し、就業の実現に努めます。独自事業については会員の参画を得て、事業の充実に取り組んでまいります。

会員数については、定年制延長により、60歳を越えても雇用される方が増え、入会者時の年齢が上がるとともに入会者数が減っています。このためホームページ、市内全戸配布チラシによる広報活動を行うとともにシルバーフェスタ等を通じて、会員数の増強に努めてまいります。

近年、女性のシルバーへの参画推進が叫ばれております。女性の入会に努めるとともに、女性の就業機会を確保し、女性リーダーの発掘に努め、女性会員のセンター事業への積極的な参画を促してまいります。

今年度は第4次中期計画の5年の最終年となります。計画の実現に努めると共に、次期計画への展望を見据えながら、①就業機会を提供し、会員相互の交流を図り自主的な活動を支援し、②地域社会に貢献できるセンターを目指します。

運営にあたり、「自主・自立」「共働・共助」を基本理念の下、長年培ってきた技能や知識、経験を活かし、親切・丁寧な仕事を提供することにより、市民の信頼に応えてまいります。

2 シルバー人材センター事業

(1) 事業運営

「わかりやすい・質の高いサービス」の提供（お客様満足度の向上）

ア 就業機会提供事業

- ㊦ 請負・委任
- ㊧ 職業紹介
- ㊨ 労働者派遣

イ 就業機会確保事業

- ㊦ 就業機会の提供（請負・委任、職業紹介、労働者派遣による）
 - ・就業情報のホームページへの掲載
 - ・会員データ管理による効率的な就業機会の提供
 - ・就業案内へのメール活用の推進（会員メールアドレスの登録推進、Smile to Smileの登録推進と活用）
 - ・相談窓口を活用した就業の促進
- ㊧ 就業先の拡大
 - ・派遣事業の普及・拡大を図る
 - ・新規分野の受注を目指すとともに、独自事業の開発に努める（農業支援、墓地管理、エアコンクリーニング等）
 - ・女性会員向けの就業先の開拓

ウ 普及啓発事業

- ㊦ 普及啓発促進月間行事の充実
 - ・シルバースフェスタの充実（会員同士の交流、市民との交流）
 - ・クリーン作戦等の普及啓発活動の実施
- ㊧ 会報「シルバーだより」の発行配布、「PRチラシ」全戸配布
- ㊨ ホームページの充実

エ 適正就業と安全就業の推進

- ㊦ ワークシェアリングの検討・推進
- ㊧ 安全パトロールの実施
- ㊨ 事件事例の検証を行い再発防止に努める
- ㊩ 安全標語を生かし、安全意識の高揚を図る
（「安全はすべてに優先する」をモットーに活動する）

オ 会員数の拡充

- ㊦ 入会説明会・出前説明会の実施
- ㊧ 女性会員の比率の向上
 - ・女性会員活性化のイベントの実施
 - ・女性向けの入会説明会の実施
- ㊨ 会員の口コミによる入会勧誘の推進
- ㊩ 未就業会員のフォローアップを行い、退会者の減少を図る

カ 会員の資質向上

- ㊦ 会員の資質向上を図るための研修会の実施
- ㊧ 安全就業・健康づくりに資するための研修会の実施

キ 地区活動の推進

- ㊦ 地区会議を始めとする地区活動への支援

ク 地域交流活動

- ㊦ 渡良瀬遊水地ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦等への参加
- ㊧ 高齢者福祉施設等でのボランティア活動

(2) 法人運営

「開かれたセンター運営を目指す」

ア 運営体制の強化

- ㊦ 「自主・自立」を基本とする会員主体の自主的な運営を目指す
- ㊧ 会員にセンター運営の意義を再度伝え、運営参加を促進する
- ㊨ 女性リーダーの発掘・育成を図り、運営等への参加を促す
- ㊩ 会員と事務局との連携を強化する
- ㊪ 事務の効率化と経費節減
 - ・先進センターの事例を収集し、事務事業の改善に努める
 - ・事務の効率化を図り、経費節減に努める
 - ・職員の研修機会を増やし、事務局の充実に努める

イ 定款に定める会議の開催

- ㊦ 理事会 事務執行状況や会員の入会承認などセンターの事業運営に重要な案件を審議・決定する（年12回程度）
- ㊧ 総会 定時総会（6月開催）

参 考

第4次中期計画 令和6年度実施計画

◎総務部会

- ・運営組織総括
適正就業基準・ワークシェアリングの見直し（適正就業担当と共同）
インボイス制度・フリーランス法施行への対応
- ・会員開発担当
入会説明会・出前入会説明会の開催
女性会員の入会促進
- ・適正就業担当
適正就業基準・ワークシェアリングの見直し（運営組織総括と共同）
定時公募の実施（必要に応じて臨時公募の実施）
公募対象就業先の周知徹底
未就業会員の減少
- ・地域貢献担当
シルバークフェスタ（12月）、クリーン作戦の実施（10月）
各行事への会員参加率向上

◎広報部会

- ・広報・編集担当
「シルバークだより」「かわら版」「全戸配布チラシ」の発行
- ・ホームページ担当
ホームページの活用促進
「Smile to Smile」の登録者の拡大と活用

◎事業部会

- ・職群班担当、安全委員会
職群班長会議の開催（4月、10月）
安全パトロール・就業先訪問の実施
事故発生に係る事故防止の検証
熱中症に対する注意喚起
安全標語を活用し安全意識の高揚を図る
- ・就業開発担当
就業拡大のための事業所訪問の実施
エアコンクリーニング事業の拡大
農業支援、墓地管理の拡充
- ・研修会担当
接遇マナー講習会の実施
熱中症予防対策講習会の実施
交通安全講習の実施

普通救命講習会の実施

認知症サポーター講習会の実施

フレイル予防講習の実施

- 女性委員会

女性会員の活性化につながる自主活動の推進

女性会員就業分析

子育て支援に係る就業拡大

女性会員のリーダー発掘